

千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭支援

東京都隊友会事務局

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会主催の平成29年度秋季慰霊祭が、10月18日（水）千代田区三番町の千鳥ヶ淵で、三笠宮寛仁（ともひと）親王妃信子殿下のご臨席を仰ぎ、ご遺族、政府高官、各政党代表者、都府県代表者、駐日各国大使・同代理大使館付武官等内外多数の貴賓、並びに自衛隊からは統合幕僚長はじめ陸・空幕僚長、海幕長代理、東部方面総監、横須賀地方総監、航空総隊司令官、第1師団長等自衛隊各級指揮官が参列し、全国各地から約900人を超える人々が、慰霊の誠を捧げるために参集し、厳粛に執り行われました。

式典は、国歌斉唱、献茶の儀、奉仕会会長式辞、昭和天皇及び今上陛下御製奉唱、童謡・唱歌斉唱、総理大臣代理追悼の辞の後、三笠宮親王妃信子殿下が墓前に進まれご拝礼、黙祷を捧げられ、参列者全員もこれに倣いました。

続いて、陸海空自衛隊からの代表部隊とそれぞれの音楽隊による拝礼が行われましたが、整然とした半歩行進の威容は、参列者に深い感銘を与えた様子でした。

この中であって東京都隊友会は、直海康寛会長以下65名が早朝から準備し、受付、案内、式典進行、接遇、駐車場整理及び救護の各部門に分かれ、整然と隊友会ならではの組織力を発揮して業務を遂行し、式典の円滑な運営に大いに寄与しました。

この支援は、隊友会の活動目的の一つである「戦没者の慰霊」事業として、平成11年から毎年の恒例行事として実施しており、墓苑奉仕会はじめ関係各方面から大いに期待され、賛辞を頂いております。



編成完結式



受付準備中の会員